

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型	外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有））、マネー・プール マザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。 当該外国投資法人において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年3、6、9、12月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型



第18期（決算日：2016年9月27日）

第19期（決算日：2016年12月27日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型」は、去る12月27日に第19期の決算を行いましたので、法令に基づいて第18期～第19期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型のご報告

◇最近10期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇お知らせ	12

投資対象ファンドのご報告

◇QTX WCM GDP Fund（日本円建て、ヘッジ有）	14
◇マネー・プール マザーファンド	19

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金分配	積み金	騰落中率				
	円	円	%	%	%	%	百万円	
10期(2014年9月29日)	10,188	100	0.1	0.0	—	96.0	703	
11期(2014年12月29日)	10,838	700	13.3	0.0	—	98.0	704	
12期(2015年3月27日)	10,860	700	6.7	0.0	—	93.4	713	
13期(2015年6月29日)	10,185	0	△ 6.2	0.0	—	97.0	832	
14期(2015年9月28日)	10,133	0	△ 0.5	0.0	—	97.0	875	
15期(2015年12月28日)	10,202	0	0.7	0.0	—	96.9	891	
16期(2016年3月28日)	9,886	0	△ 3.1	0.0	—	97.0	849	
17期(2016年6月27日)	9,554	0	△ 3.4	0.0	—	97.1	787	
18期(2016年9月27日)	9,614	0	0.6	—	—	97.9	751	
19期(2016年12月27日)	9,309	0	△ 3.2	—	—	97.1	657	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第18期	(期 首) 2016年6月27日	円	%	%	%	%	%
		9,554	—	0.0	—	—	97.1
	6月末	9,656	1.1	0.0	—	—	97.0
	7月末	9,603	0.5	0.0	—	—	97.0
	8月末	9,590	0.4	0.0	—	—	97.0
第19期	(期 末) 2016年9月27日	9,614	0.6	—	—	—	97.9
	(期 首) 2016年9月27日	9,614	—	—	—	—	97.9
	9月末	9,613	△0.0	—	—	—	97.9
	10月末	9,322	△3.0	—	—	—	97.1
	11月末	9,185	△4.5	—	—	—	97.0
	(期 末) 2016年12月27日	9,309	△3.2	—	—	—	97.1

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

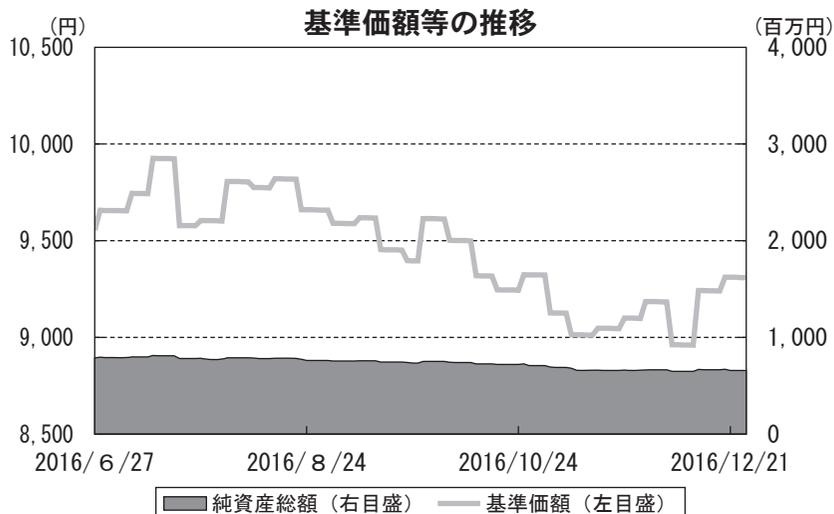
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第18期～第19期: 2016/6/28～2016/12/27)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.6%の下落となりました。



第18期首: 9,554円
 第19期末: 9,309円
 (既払分配金 0円)
 騰落率: -2.6%

基準価額の主な変動要因

下落要因

エネルギー市場や債券市場の変動などが、基準価額にマイナスに作用しました。

投資環境について

（第18期～第19期：2016/6/28～2016/12/27）

◎株式市況

世界の株式市場は、原油価格の上昇や米国の新しい大統領に選ばれたトランプ氏の政策への期待などから上昇しました。日本の株式市場も米大統領選後に為替が円安傾向となったことなどから上昇しました。

◎債券市況

米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ予想や米国の新しい大統領に選ばれたトランプ氏の下で拡張的な財政政策が行われるとの予想などから世界的に長期金利が上昇しました。

◎商品市況

原油価格は、需給関係の改善などを受けて上昇しました。金価格は、米ドルが堅調となったことから下落しました。

◎為替市況

FRBによる2016年内の利上げ観測の高まりや、米国の長期金利が上昇したことなどから、米ドルは対円、対ユーロで上昇しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀によるマイナス金利適用を受けて、足元はマイナス0.05%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀によるマイナス金利政策や短期国債の買入れおよび短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.2%を下回る水準で推移しました。2016年7月初旬にマイナス0.3%を一時的に下回りましたが、8月初旬にかけては、7月末の日銀金融政策決定会合でマイナス金利幅の拡大などが見送られたことや9月の日銀金融政策決定会合で金融政策の総括的な検証を行うとの決定が追加緩和の限界を連想させたことなどから、マイナス0.23%程度まで上昇しました。その後、9月の日銀金融政策決定会合でマイナス金利幅を拡大するとの報道などを受けてマイナス0.37%程度まで低下しました。結果としてマイナス金利幅の拡大が見送りとなった後は上昇傾向で推移したものの、足元にかけては低下傾向となり、マイナス0.45%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

〈国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型〉

- ・当ファンドは、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。
- ・当作成期末においては、Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有) を 97.1%、マネー・プール マザーファンドを 0.0% 組み入れています。
- ・その結果、基準価額は当作成期首に比べ、下落しました。

〈Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)〉

(当記載は、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱 U F J 国際投信が作成したものです。)

- ・Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン・キャピタル・マネジメン ト・リミテッド (以下「ウィントン社」) の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。なお、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。
- ・前記のような運用の結果、株式市場や為替市場の変動などがプラスに寄与したものの、エネルギー市場や債券市場の変動などがマイナスに作用し、基準価額のマイナス要因となりました。

〈マネー・プール マザーファンド〉

- ・わが国の国債やコール・ローンおよび C P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いましたが、運用資金に対するマイナス金利適用などから、基準価額は当作成期首と比べて下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第18期	第19期
	2016年6月28日～2016年9月27日	2016年9月28日～2016年12月27日
当期分配金	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	826	826

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型>

◎今後の運用方針

・引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人であるQTX WCM GDP Fundが発行する円建の外国投資証券「QTX WCM GDP Fund（日本円建て、ヘッジ有）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プールマザーファンド受益証券への投資も行います。

<QTX WCM GDP Fund（日本円建て、ヘッジ有）>

◎今後の運用方針

（当記載は、外国投資法人であるQTX WCM GDP Fundの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。）

・QTX WCM GDP Fundでは実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。なお、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

マネージド・フューチャーズ戦略

・主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

・世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと考えています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年6月28日～2016年12月27日)

項 目	第18期～第19期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(25)	(0.268)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.321)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	58	0.611	
作成期中の平均基準価額は、9,494円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年6月28日～2016年12月27日)

投資信託証券

銘 柄		第18期～第19期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	QTX WCM GDP Fund (日本円建て、ヘッジ有)	千口 6 (△0.0098)	千円 7,400 (-)	千口 100	千円 117,700

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年6月28日～2016年12月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年12月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第17期末		第19期末	
		口数	口数	評価額	比率
QTX WCM GDP Fund (日本円建て、ヘッジ有)		千口 639	千口 545	千円 638,394	% 97.1
合	計	639	545	638,394	97.1

(注) 比率は国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第17期末		第19期末	
		口数	口数	評価額	
マネー・プール マザーファンド		千口 99	千口 99	千円 100	100

○投資信託財産の構成

(2016年12月27日現在)

項	目	第19期末	
		評価額	比率
投資証券		千円 638,394	% 94.9
マネー・プール マザーファンド		100	0.0
コール・ローン等、その他		33,908	5.1
投資信託財産総額		672,402	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第18期末	第19期末
	2016年9月27日現在	2016年12月27日現在
	円	円
(A) 資産	760,292,849	672,402,087
コール・ローン等	24,348,657	20,907,816
投資証券(評価額)	735,844,163	638,394,242
マネー・プール マザーファンド(評価額)	100,029	100,029
未収入金	—	13,000,000
(B) 負債	9,005,411	14,671,190
未払金	6,600,000	—
未払解約金	—	12,554,745
未払信託報酬	2,384,025	2,097,286
未払利息	34	30
その他未払費用	21,352	19,129
(C) 純資産総額(A-B)	751,287,438	657,730,897
元本	781,430,518	706,543,981
次期繰越損益金	△ 30,143,080	△ 48,813,084
(D) 受益権総口数	781,430,518口	706,543,981口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,614円	9,309円

○損益の状況

項 目	第18期	第19期
	2016年6月28日～ 2016年9月27日	2016年9月28日～ 2016年12月27日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 2,997	△ 2,121
受取利息	25	32
支払利息	△ 3,022	△ 2,153
(B) 有価証券売買損益	7,132,836	△19,440,725
売買益	7,827,031	2,906,997
売買損	△ 694,195	△22,347,722
(C) 信託報酬等	△ 2,405,094	△ 2,115,811
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,724,745	△21,558,657
(E) 前期繰越損益金	△46,077,164	△37,364,675
(F) 追加信託差損益金	11,209,339	10,110,248
(配当等相当額)	(27,492,181)	(24,879,860)
(売買損益相当額)	(△16,282,842)	(△14,769,612)
(G) 計(D+E+F)	△30,143,080	△48,813,084
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△30,143,080	△48,813,084
追加信託差損益金	11,209,339	10,110,248
(配当等相当額)	(27,492,181)	(24,879,860)
(売買損益相当額)	(△16,282,842)	(△14,769,612)
分配準備積立金	37,092,679	33,515,713
繰越損益金	△78,445,098	△92,439,045

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 823,834,465円
 作成期中追加設定元本額 520,075円
 作成期中一部解約元本額 117,810,559円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9309円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は48,813,084円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年6月28日～ 2016年9月27日	2016年9月28日～ 2016年12月27日
費用控除後の配当等収益額	－円	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	27,492,181円	24,879,860円
分配準備積立金額	37,092,679円	33,515,713円
当ファンドの分配対象収益額	64,584,860円	58,395,573円
1万口当たり収益分配対象額	826円	826円
1万口当たり分配金額	－円	－円
収益分配金金額	－円	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年12月27日現在）

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体(667,135千口)の内容です。

国内その他有価証券

区 分	第19期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 199,999	% 29.8

（注）比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型が投資対象とする外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券です。

名 称	Q T X W C M G D P F u n d
投資証券（シェア・クラス）の名称	Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)
形態	ケイマン籍外国投資法人
投資の基本方針	主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。原則として米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。
運用方針	<p>ウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。</p> <p>【マネージド・フューチャーズ戦略】 主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。</p> <p>【株式運用戦略】 世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。</p>
投資顧問会社	ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド
アレンジャー	ゴールドマン・サックス・インターナショナル
設定日	2012年4月12日
会計年度	毎年1月1日から12月31日まで

※Q T X W C M G D P F u n d は日本において届出は行われておらず、日本においてQ T X W C M G D P F u n d への直接投資を行うことはできません。

※ウィントン社の運用は、Q T X W C M G D P T R A D I N G を通じて行われます。

QTX WCM GDP FUND

包括利益計算書、投資概況は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 包括利益計算書

2015年12月31日に終了した年度
(米ドルで表示)

投資損益

純損益を通じて公正価値で測定する金融資産

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定

QTX WCM GDP TRADINGに係る未実現損益の純変動 (385,047)

QTX WCM GDP TRADINGに係る実現損益 (純額) 1,587,511

売買目的保有の金融商品

デリバティブに係る未実現損益の純変動 223,120

デリバティブに係る実現損益 (純額) (489,452)

貸付金および債権

為替に係る未実現損益の純変動 265,108

為替に係る実現損益 (純額) (262,149)

維持管理料の割り戻し 150,083

受取利息 1,983

投資純損益 1,091,157

営業費用

運用受託報酬 551,532

成功報酬 380,911

市場への接続費用 275,772

ファンド管理報酬 143,896

その他の費用 178,416

営業費用合計 1,530,527

営業活動による純資産の増減 (純額) **US\$** (439,370)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

包括利益計算書（続き）

QTX WCM GDP TRADING*

2015年12月31日に終了した年度

（米ドルで表示）

投資損益*純損益を通じて公正価値で測定する金融商品**売買目的保有の金融商品*

株式投資に係る未実現損益の純変動	(3,886,852)
株式投資に係る実現損益（純額）	3,182,005
デリバティブに係る未実現損益の純変動	203,572
デリバティブに係る実現損益（純額）	1,298,820
受取配当金（源泉徴収税控除後）	1,312,666
支払配当金	(424,395)
スワップ取引による支払利息	(8,991)

貸付金および債権

為替に係る未実現損益の純変動	24,192
為替に係る実現損益（純額）	(135,072)
受取利息	19,079
その他の収益	8,021

投資純損益

1,593,045

営業費用

支払利息	223,693
支払委託手数料	128,556
その他の費用	38,332

営業費用合計

390,581

営業活動による純資産の増減（純額）**US\$ 1,202,464**

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

*本報告書において「QTX WCM GDP TRADING」を「Trading Fund」ということがあります。

2. 投資概況

QTX WCM GDP FUND

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2015年12月31日)
Investment in Trading Fund	91.97%	60,645,464
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	0.06%	37,212
Total financial assets at fair value	92.03%	US\$ 60,682,676
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.00%	447
Total financial liabilities at fair value	0.00%	US\$ 447

QTX WCM GDP TRADING

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2015年12月31日)
Equity investments	133.86%	81,179,214
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	0.28%	167,929
Futures contracts	2.76%	1,676,036
CFDs	0.00%	1,435
Total financial assets at fair value	136.90%	US\$ 83,024,614
Equity investments sold short	34.72%	21,055,730
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.16%	94,986
Futures contracts	2.12%	1,284,849
CFDs	0.00%	453
Total financial liabilities at fair value	37.00%	US\$ 22,436,018

投資概況 (続き)

QTX WCM GDP TRADING

為替のエクスポージャー

(2015年12月31日現在)

December 31, 2015	金融資産	金融負債	ネット・エクスポージャー
Australian dollar	21,972	—	21,972
Brazilian real	63,961	—	63,961
British pound	235,029	(9,105)	225,924
Canadian dollar	16,635	—	16,635
Czech koruna	—	(3)	(3)
Denmark krone	—	(564)	(564)
Euro	1,649,652	(9,678)	1,639,974
Hong Kong dollar	145,596	—	145,596
Hungarian forint	810	(1,044)	(234)
Israeli shekel	—	(1,764)	(1,764)
Japanese yen	147,481	—	147,481
Malaysian ringgit	2,078	—	2,078
New Zealand dollar	8,465	(595)	7,870
Norwegian krone	3,003	(2,326)	677
Polish zloty	—	(8,429)	(8,429)
Singapore dollar	13,638	(1,440)	12,198
South African rand	18,657	(23,540)	(4,883)
South Korean won	40,540	—	40,540
Swedish krona	4,088	(23,090)	(19,002)
Swiss franc	12,027	(936)	11,091
Turkish lira	—	(27,663)	(27,663)
	US\$ 2,383,632	(110,177)	2,273,455

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

デリバティブ金融資産

(2015年12月31日現在)

デリバティブ資産	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 16-Mar 16	19	US\$ 15,673,639	167,929
Commodity futures contracts	Jan 16-Jun 16	522	24,389,462	1,047,069
Currency futures contracts	Mar 16	408	46,777,706	383,854
Index futures contracts	Jan 16-Mar 16	47	4,359,410	38,880
Interest rate futures contracts	Mar 16-Sep 18	579	176,029,028	206,233
CFDs	Current	96	7,292,085	1,435
			US\$	1,845,400

デリバティブ負債	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 16-Jun 16	11	US\$ 7,454,930	94,986
Commodity futures contracts	Jan 16-Dec 16	146	6,296,035	154,072
Currency futures contracts	Mar 16	34	1,708,280	25,590
Index futures contracts	Jan 16-Mar 16	766	62,040,943	579,540
Interest rate futures contracts	Mar 16-Dec 18	1,094	233,361,251	525,647
CFDs	Current	73	3,395,683	453
			US\$	1,380,288

マネー・プール マザーファンド

《第14期》決算日2016年7月14日

[計算期間：2016年1月15日～2016年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落率			
	円		%	%	%	百万円
10期(2014年7月14日)	10,045		0.0	93.4	—	1,284
11期(2015年1月14日)	10,047		0.0	84.8	—	1,179
12期(2015年7月14日)	10,049		0.0	85.2	—	821
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—	852
14期(2016年7月14日)	10,050		0.0	62.2	—	241

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券先物比率
		期騰	落率			
(期首) 2016年1月14日	円 10,049		% —	% 70.3	% —	% —
1月末	10,050		0.0	95.3	—	—
2月末	10,053		0.0	73.3	—	—
3月末	10,050		0.0	52.3	—	—
4月末	10,050		0.0	83.1	—	—
5月末	10,051		0.0	79.8	—	—
6月末	10,050		0.0	62.7	—	—
(期末) 2016年7月14日	10,050		0.0	62.2	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

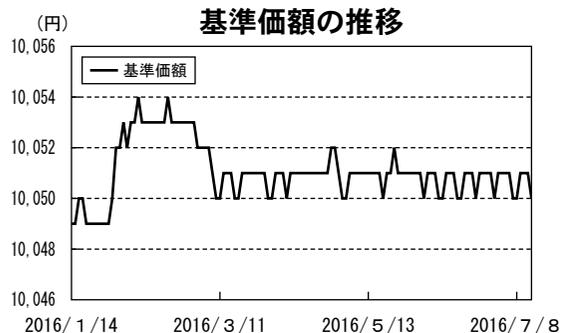
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第14期：2016/1/15～2016/7/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べて0.01%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

保有債券の評価額の上昇が、基準価額のプラスに寄与しました。

投資環境について

(第14期：2016/1/15～2016/7/14)

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用開始を受けて足元はマイナス0.05%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは0%を下回る水準で推移しました。2016年1月の日銀の金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると一時的にマイナス0.2%程度まで急低下したものの、急低下の反動からマイナス0.1%程度まで上昇しました。その後、再び低下傾向となり、足元ではマイナス0.3%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・基準価額は期首に比べて上昇しました。
- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、日銀のマイナス金利導入による金利低下を受けて保有債券の評価額が上昇したことなどにより、基準価額は上昇しました。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が下落したことや為替が円高に推移した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年1月15日～2016年7月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,050円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年1月15日～2016年7月14日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 100,061	千円 220,269 (326,500)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 699,999	千円 699,999

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月15日～2016年7月14日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年7月14日現在)

国内公社債

(A)国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 150,000	千円 150,511	% 62.2	% —	% —	% —	% —	% 62.2
合 計	150,000	150,511	62.2	—	—	—	—	62.2

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第282回利付国債（10年）	1.7	150,000	150,511	2016/9/20
合 計		150,000	150,511	

○投資信託財産の構成

(2016年7月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 150,511	% 61.8
コール・ローン等、その他	93,070	38.2
投資信託財産総額	243,581	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年7月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	243,581,074
コール・ローン等	92,259,198
公社債(評価額)	150,511,500
未収利息	810,376
(B) 負債	1,767,210
未払解約金	1,767,071
未払利息	139
(C) 純資産総額(A-B)	241,813,864
元本	240,621,739
次期繰越損益金	1,192,125
(D) 受益権総口数	240,621,739口
1口当たり基準価額(C/D)	10,050円

<注記事項>

- ①期首元本額 847,818,437円
 期中追加設定元本額 640,661,743円
 期中一部解約元本額 1,247,858,441円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0050円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642円
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追従型	99,642円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,989円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,372,283円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,983,878円
マネー・プール・ファンドIV	977,506円
マネー・プール・ファンドVI	127,451,917円

○損益の状況 (2016年1月15日～2016年7月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,927,574
受取利息	1,936,538
支払利息	△1,877,964
(B) 有価証券売買損益	△1,877,353
売買損	△1,877,353
(C) 保管費用等	△58
(D) 当期損益金(A+B+C)	50,163
(E) 前期繰越損益金	4,187,341
(F) 追加信託差損益金	3,311,581
(G) 解約差損益金	△6,356,960
(H) 計(D+E+F+G)	1,192,125
次期繰越損益金(H)	1,192,125

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マネー・プール・ファンドⅦ (適格機関投資家専用)	976,455円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドⅤ (年2回決算型)	32,862,095円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド (毎月決算型)	999円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)	997円
リスク・パリティαオープン	995円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジあり	9,963円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなし	39,849円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円

国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	12,684,974円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	2,254,773円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	240,621,739円

[お知らせ]

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため(分散型に分類)、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行うための、所要の約款変更を行いました。(2016年7月1日)